

「データ解析Ⅱ」補助員（SA）志望者の皆様へ

担当教員 高田洋

「データ解析Ⅱ」では、次のテキストを例として、特に**SPSS**(時々EXCEL)という統計ソフトの使い方を実習しながら、データの分析方法を学びます。授業の半分で応用例についてテキストを用いながら解説し、SPSSやEXCELにおける分析方法を解説し、残りの時間で、課題を実際に分析する実習を行います。このコンピュータを用いた実習の際にSAの皆さんにお手伝いしてもらいます。

『社会の見方、測り方—計量社会学への招待』
与謝野 有紀 他 (編集), 数理社会学会 (監修)
勁草書房 ISBN: 4326601868

社会の見方、測り方
計量社会学への招待

Sociometrics



授業の流れ

- ① 情報ポータルでサンプルデータや資料をダウンロード。
- ② ノートパソコンを用いて、出される課題を実習。
- ③ ポータルで課題を提出。

SAの役割・体制

- ① TA1名とSA2名～3名程度で、チームを組みます。
- ② 授業内容は、授業日の2～5日くらいの間にメールで配布されます。その内容を予習します。このとき、事前にわからないことや間違いをメールで指摘してください。
- ③ この授業では、毎回、小レポートが課されます。小レポートの解答はメールで渡されます。実習の際、ヒントを教えて、だんだんとできるように指導するのがSAの役割です。学生への質問にも対応します。対応に困る場合や、わからない場合などは、教員に聞いて進めます。
- ④ 学生が一通り小レポートをやり終えたら、レポートチェック表でチェックします。課題のチェックは、手分けしながら進めます。
- ⑤ 出席のチェックはTAが責任を持ちますが、分担して手伝います。
- ⑥ ノートパソコンは自分のものを持参してください。
- ⑦ SAは出勤簿に毎回、押印する必要がありますので、印鑑を持参してください。
- ⑧ SAはよき先輩としての模範の役割があります。遅刻・欠席をしないことはもちろんのこと（やむを得ない場合は前もって連絡する）、積極的に学生を指導し、授業に参加することが求められます。
- ⑨ テキストは必ず持参すること。ない場合は配布します。
- ⑩ 授業の前後に簡単なミーティングを行います。

より詳しい質問は高田 (htakada@sgu.ac.jpまたはC511研究室) まで